



排水対策

①水口はしっかり止める ②額縁排水溝は早めに設置 ③排水溝は深く掘り下げる

④基幹排水溝は播種直後に設置 ⑤排水溝は確実に連結

排水対策の効果

- 砕土率が上がり発芽・苗立向上
- 除草剤の効果向上
- 根量・根粒菌の増加
- 茎疫病・黒根腐病の発生抑制

土壌改良資材

収量・品質向上の為、有機物の積極的施用

資材名	施用量 (10a)
発酵ケイフン	150kg
堆肥	1t

土壌 pH6.0~6.5を目標に生育量を確保

資材名	施用量 (10a)
苦土石灰	100kg

耕起・施肥・播種

- 低速のロータリー回転で行う
- 丁寧な耕起により作土深15cm以上を確保する
- 事前にスプロケットの組合わせ等・播種機の調整を行う
- 適正な播種深度(3cm程度)を徹底する
- 品種・播種時期に応じた適正な植付本数を確保する
- 播種直後に排水溝の点検・手直しを行う

肥料名	10a当たりの施用量	
	単作	麦跡
化成肥料オール14	17~22kg	30~35kg
BB基肥084	25~30kg	40~50kg

品種	播種時期	栽植本数(本/10a)	中粒 播種量(kg/10a)	大粒 播種量(kg/10a)
えんれいのそら	5月6半旬~6月上旬	14,000~16,000	4.4~5.0	5.5~6.3
	6月中旬	16,000~18,000	5.0~5.6	6.3~7.0
シュウレイ	5月6半旬~6月上旬	12,000~15,000	3.8~4.8	4.8~6.0
	6月中旬	15,000~18,000	4.8~5.7	6.0~7.2
オオツル	6月上旬	10,000~12,000	3.1~3.7	4.0~4.8
	6月中旬	12,000~14,000	3.7~4.4	4.8~5.6

※耕起から播種の一連の作業は圃場が乾いた状態で、1日で実施

培土

- 培土作業により根粒菌着生の増加
- 耐倒伏性・養分・水分吸収力の向上
- 溝を作ることで排水性の向上
- 中耕により雑草防除
- 培土後の溝の手直しと排水溝への連結

2回目: 播種30~35日後(本葉4~5枚時) 初生葉が隠れる程度

1回目: 播種20~25日後(本葉2~3枚時) 子葉が隠れる程度

~培土は横元土をしっかりとかけましょう~

良い培土 悪い培土

除草剤

時期	品名	散布量/10a	使用方法	特記	使用時期	使用回数	
播種後	エコトップP乳剤	500ml +水100L	全面土壌散布	畑地一年生雑草	播種後出芽前	1回	
	エコトップP細粒剤F	4~6kg	全面土壌散布	畑地一年生雑草	播種後出芽前	1回	
生育期間中	パワーガイザー液剤	200~300ml +水100L	全面散布 畦間処理	一年生雑草(アサガオ類) 発生前期~2葉期	出芽直前~3葉期 収穫30日前まで	1回	
	ナブ乳剤	150~200ml +水100~150L	全面散布	イネ科雑草3~5葉期	収穫30日前まで	1回	
	ホルトフロアブル	200~300ml +水50~100L	全面散布	イネ科雑草3~10葉期	収穫30日前まで	1回	
	大豆ハサグラン液剤	100~150ml +水100L	全面散布	イネ科を除く一年生雑草	大豆2葉期~開花期	大豆生育期 収穫45日前まで	1回
		300~500ml +水100L	畦間処理				
ハスタ液剤	300~500ml +水100~150L	畦間処理	雑草生育期	雑草生育期	収穫28日前まで	3回以内	

病虫害防除

体系	農薬名	散布量/10a	対象病虫害	散布時期(収穫前日数)	総使用回数
種子消毒	液剤 クルーザーMAXX	原液8ml/乾燥羽1kg	茎疫病・苗立枯病 アブラムシ類 タネハエ	播種前	1回
	基本防除	粉剤 トライトレボン粉剤DL	3kg	紫斑病 フタスジヒメハムシ カメムシ類	1回目 8月上旬(14日前まで) 2回目 8月中旬(14日前まで)
液剤 ①スタークル液剤10		空散布量 800ml ① 100ml(8倍) +② 33ml(24倍) +水667ml	カメムシ類・紫斑病	1回目 8月上旬(7日前まで)	2回以内
				2回目 8月下旬(14日前まで)	
液剤 ③トレボンエアー		空散布量 800ml ③ 100ml(8倍) +④ 100ml(8倍) +水600ml	カメムシ類・紫斑病	1回目 8月上旬(7日前まで)	2回以内
	2回目 8月下旬(14日前まで)				
随時防除	粉剤 マラソン粉剤3	3kg	アブラムシ ハダニ類	発生始期(7日前まで)	3回以内

うね間かん水

- 開花後~9月上旬までうね間かん水の徹底
- 晴天が3日以上続く場合は必ず実施
- 圃場の全体に水が行き届いたら水口を止め速やかに排水を行う

かん水の効果

- 収量の確保
- 品質の向上
- 青立ちの防止
- 落花・落葉の防止

収穫・乾燥・調製

- 青立ち株や大きな雑草は、事前に抜き取っておく
- 露がなくなってから刈取りを行う
- 刈取り高さは地際から10cm以上とし、土を巻き込まない

刈取適期の目安

褐色莢: 90%
茎水分: 65%
莖色: 黄色

褐色莢: 90%
茎水分: 70%
莖色: 黄緑

褐色莢90%以上(子実水分22%)
莖色が、緑~黄色でも、莢色が褐色なら適期